



女性が活躍できる環境づくりを探る

静岡県 電気組 ワークショップ「電気工事業における女性活躍推進」

静岡県電気工事業組合・松田良尚理事長は、1月25日、静岡市駿河区の静岡県男女共同参画センター「あされあ」でワークショップ「電気工事業における女性活躍推進」を開催した。女性が活躍できる環境をどう整備するのかを探るための企画で、講演やパネルディスカッションが行われた。



松田理事長は「静岡県内では少子高齢化による労働力不足が深刻化しているが、電力分野では女性活躍の機会を増やしていくことが重要だ」と述べた。



ワークショップ「電気工事業における女性活躍推進」



祝辞を述べる菊井静尚電気工事協力会社長



菊井静尚電気工事協力会社長は、祝辞の中で「女性活躍推進は、企業が持続可能な成長を実現するために不可欠な要素である」と述べた。



講師の龍田氏は「日本の人口が減少することに伴って、電力業界も人手不足が深刻化している。女性活躍を促進することは、業界の活性化にもつながる」と述べた。

映像講習

講師の龍田氏



閉会あいさつする長谷川副理事長は「今回のワークショップは、女性活躍推進の重要性を再認識する機会になった。今後も引き続き取り組んでいく」と述べた。

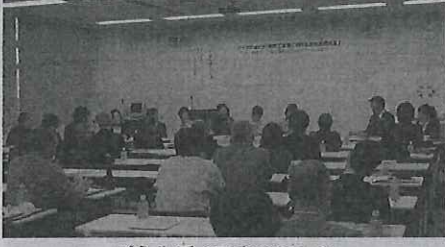
会の国土交通省建設流通政策課長

会長の西野青年部会長

会長の西野青年部会長

熱心にパネルディスカッション

パネルディスカッションでは、各パネリストが自身の経験に基づき、女性活躍推進の課題と対策について意見を述べた。



パネルディスカッション



印象的な表情をみせたパネリストたち

建設流通政策課長は「建設業界の女性活躍推進は、業界の持続可能性を高めるための重要な課題である」と述べた。

閉会あいさつする長谷川副理事長

キラキラしていたが女性がいきいきと活躍する職場には明るさを感じる。男性がなかなか気づけないような話もよく聞かれて大変勉強になった。本日学んだことを活かして女性の人職者が増えるよう努力したい」と総括し、長谷川吉昭副理事長が大変有意義な話を聞かせてくれた。女性の目線でも細やかに対応することも立派な武器である。各支部でも女性力を取り入れて一歩も二歩も前進したい」と結んだ。



パネルディスカッションの要旨を以下にまとめた。

① 現状と課題
電力業界の女性活躍率は依然として低い。理由として、長時間労働やキャリアパスの不明確さなどが挙げられる。

② 対策
柔軟な働き方の導入、メンター制度の充実、子育て支援の強化などが有効である。

③ 今後の展望
各企業がそれぞれの強みを活かして、女性の活躍の機会を増やしていくことが重要である。

パネリストの左上から望月さん、植山さん、石黒さん、右上から小栗さん、大石さん、村松さん、磯谷青年部副会長